

所属	人文科学系	職名	講師	氏名	杉浦克哉	記載年月日 (和暦)	平成28年11月10日
I 主な教育活動							
I-1 教育実践上の主な業績(過去3年)							
(平成27年度) 中部大学非常勤講師(全学教養科目)「英語スキル」「総合英語」							
(平成26年度) 中部大学非常勤講師(全学教養科目)「英語スキル」「総合英語」、名古屋高等学校「英語表現II」「英語演習」							
(平成25年度) 中部大学非常勤講師(全学教養科目)「英語スキル」「総合英語」、名古屋高等学校「OC」「英語表現I」							
I-2 クラブ指導における主な業績(過去3年)							
I-3 その他の該当事項(過去3年)							
I-4 校務担当(該当年度も含め過去3年)							
(平成28年度) 教務委員会							
I-5 担当クラブ等(該当年度も含め過去3年)							
(平成28年度) 現代視覚文化研究同好会							
II 主な研究活動(著書・論文等の名称)(過去7年以上、専攻科様式第5号形式とする)							
著書・論文等の名称	単著 共著	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名(共著のみ)			
II-1 (学位論文)							
1. A Synchronic and Diachronic Study of Gerundive and Participial Constructions in English (博士論文)	単著	平成27年3月	名古屋大学				
2. A Syntactic and Historical Approach to Retroactive Gerunds: With Special Reference to the <i>Worth</i> Construction (修士論文)	単著	平成23年3月	名古屋大学				
II-2 (著書)							
II-3 (学術論文)							
"A Head Raising Analysis of Participial Relative Clauses"	単著	平成29年1月発行予定	<i>Linguistics and Philology</i> 36, 名古屋大学英語学談話会.				
「古英語から中英語における現在分詞による名詞前位修飾構造の史的発達について」	単著	平成28年10月	『文法変化と言語理論』, pp. 97-107, 開拓社.				
"A Syntactic Analysis of Preposing around <i>Be</i> : With Special Reference to Participle Preposing"	単著	平成27年1月	<i>Linguistics and Philology</i> 34, pp.21-58, 名古屋大学英語学談話会.				
「英語における分詞関係節の史的発達について」	単著	平成26年9月	『日本英文学会第86回全国大会Proceedings』, pp.21-22, 日本英文学会.				
「With独立構文の歴史的発達について」	単著	平成26年9月	『日本英文学会第65回中部支部大会Proceedings』, pp.202-203, 日本英文学会.				
"On the Historical Development of Participial Relatives in English"	単著	平成26年1月	<i>Linguistics and Philology</i> 33, pp.125-143, 名古屋大学英語学談話会.				
"Synchronic and Diachronic Aspects of Retroactive Gerunds: With Special Reference to <i>Worth</i> "	単著	平成25年7月	『近代英語研究』第29号, pp.21-41, 近代英語協会.				
「With独立分詞構文の通時的発達に関する一考察」	単著	平成25年4月	『言語変化: 動機とメカニズム』, pp.23-32, 開拓社.				
"On the Development of <i>With</i> Absolute Phrases in the History of English"	単著	平成25年1月	<i>Linguistics and Philology</i> 32, pp.81-106, 名古屋大学英語学談話会.				
「遡及的派生名詞に関する一考察」	単著	平成24年3月	『名古屋大学人文科学研究』第41号, pp.23-32, 名古屋大学大学院文学研究科. ※本稿は"On Retroactive Derived Nominals"の大部分を日本語訳したものである。				
"On Retroactive Derived Nominals"	単著	平成24年1月	<i>Linguistics and Philology</i> 31, pp.147-164, 名古屋大学英語学談話会.				
"Some Notes on the Historical Development of Retroactive Gerunds"	単著	平成23年1月	<i>Linguistics and Philology</i> 30, pp.125-146, 名古屋大学英語学談話会.				
II-4 (研究紀要)							
II-5 (国際学会等発表) 予稿集, 会議論文集があれば付記のこと							
II-6 (国内学会等発表)							
「名詞を前位修飾する現在分詞の範疇と派生に関する一考察」	単著	平成28年11月発表予定	『日本英語会第34回大会』, (於金沢大学).				
"Some Notes on the Historical Development of <i>With</i> -Augmented Absolute Constructions"	単著	平成27年4月	『The 54th Annual Conference of the Society of English Literature and Linguistics at Nagoya University』, (at Nagoya University).				

「英語における分詞関係節の史的発達について」	単著	平成26年5月	『日本英文学会第86回全国大会』, (於北海道大学).	
「With独立構文の歴史的発達について」	単著	平成25年10月	『日本英文学会第65回中部支部大会』, (於椚山女学園大学).	
「遡及的動名詞の統語構造と歴史的発達について」	単著	平成23年5月	『近代英語協会第28回大会』, (於福岡女子大学).	
“On Retroactive Gerunds: With Special Reference to the <i>Worth</i> Construction”	単著	平成23年4月	『The 50th Annual Conference of the Society of English Literature and Linguistics at Nagoya University』, (at Nagoya University).	
「遡及的動名詞の歴史的発達に関する一考察」	単著	平成22年10月	『日本英文学会第62回中部支部大会』, (於金沢大学).	
II-7 (解説・総説)				
『最新英語学・言語学用語辞典』		平成27年11月	中野弘三・服部義弘・小野隆啓・西原哲雄監修, pp. 121-123, 140, 150の以下の項目を担当competence, complex NP constraint, computational system, conceptual-intentional system, conceptual necessity, condition on extraction domain, configurational parameter, constituency test, constituent, constituent structure, constraint, predicate-internal subject hypothesis, tense phrase (TP), 開拓社.	
II-8 (特許)				
II-9 (その他)				
III 学内外の主な競争的資金の獲得(採択されたものに限る)(過去7年)				
III-1 競争的資金の名称				
(平成28年度) 科学研究費助成事業(科学研究費補助金) 研究活動スタート支援、平成28年度・29年度、課題番号:16H07398、研究代表者、「英語の現在分詞の通時的・共時的研究」				
IV 学会等及び社会における主な活動				
IV-1 所属学会(記載時)				
日本英語学会、日本英文学会、日本言語学会、近代英語協会、名古屋大学英文学会				
IV-2 外部団体からの受賞および表彰(過去7年)				
IV-3 外部委員会の委員等(過去3年)				
IV-4 その他の該当事項(過去7年)				
V 担当教科(該当年度を含め過去3年)				
V-1 専攻科(該当年度も含め過去3年)(生産:生産システム専攻, 環境:環境システム専攻)と略記				
V-2 本科(該当年度も含め過去3年)(M:機械工学科, E:電気情報工学科, C:物質工学科, B:環境都市工学科)と略記				
(平成28年度) 英文法I (1M, 1C, 1B), 英文法II (2M, 2C), 英語I (1E), 英語III (3E, 3B), 上級英語 (5年生選択科目).				